

令和 6 年度
(2024 年度)

学校自己評価報告書

学校法人 赤門宏志学院

仙台赤門医療専門学校

1. 教育の理念及び教育目標

1) 建学の理念と沿革

仙台赤門医療専門学校（以下「当校」という）は、昭和 22 年（1947 年）4 月に宮城県知事の認可を得て仙台市青葉区大町二丁目に設立した。「東洋医学を社会に普及し、国民の医療福祉において社会に寄与する」ことを建学の理念として掲げ、昭和 22 年 12 月に関係法（法律第 217 号）が制定され、按摩マッサージ指圧、鍼灸及び柔道整復の養成教育は、厚生大臣の認定を得た養成学校で行うことが制度化され、当校は全国に先駆けて昭和 23 年 12 月に厚生大臣の認定を受けた。

昭和 24 年（1949 年）4 月、設置法人である財団法人「赤門学志院」を設立し、学校運営体制を整備している。その後、財団法人を学校法人に切り替え、平成 25 年（2013 年）3 月に宮城県に認可されて学校法人「赤門宏志学院」を設立し、平成 29 年 8 月に仙台赤門短期大学看護学科（以下「短大看護科」という）の設立認可を受けることにより、同学校法人の認可官庁は文部科学省になり、令和 7 年（2025 年）4 月開設予定の仙台赤門短期大学鍼灸手技療法学科（以下「短大鍼灸手技療法学科」という）の設立認可を令和 6 年（2024 年）8 月 28 日文部科学省より受けることとなった。

学校法人の名称の由来は、先代の理事長が昭和 16 年（1941 年）4 月仙台に開業したとき、屋号のように「赤門」と名づけ、その後、校名に「赤門」を冠した。学校法人名では、前法人名の「赤門学志院」のうち「赤門」と「志」を取り入れて「宏志」（志がひろくおおきくすぐれているの意：漢字文化圏においては文化・教育面の用語として使用されている）と命名したものである。

当校は、東洋医学を社会に普及するため定員を増加することにより、昭和 32 年（1957 年）4 月に仙台市青葉区川内川前丁に新校舎を建築・移転し、その後、将来の発展のため広い校地を求めて仙台市青葉区荒巻青葉に昭和 58 年（1983 年）8 月に現校舎を建築・移転している。更に臨床教育を重視した建学の理念を実施させるため、平成 19 年（2007 年）4 月に仙台市青葉区国分町に上級課程である「臨床教育専攻科」と「臨床治療所」の校舎を整備した。卒業生のうち約 70% が教員として勤務経験（勤務中のものを含む）を有している。

平成 27 年（2015 年）2 月、専修学校専門課程における職業教育の水準の維持向上を図ることを目的とした「職業実践専門課程」として、文部科学大臣より鍼灸指圧科・鍼灸科第一部・鍼灸科第二部・柔道整復科・柔道整復科第二部が認定された。令和 2 年（2020 年）4 月から、文部科学省の「高等教育の修学支援制度」の受入れ校となるべく、教育環境の整備を行った。設置学科の人材育成は、社会のニーズに応じて取り組み、学校運営は選択して集中させて行う状況にあることから、鍼灸指圧科・鍼灸科第二部・柔道整復科の 3 学科とし、「柔道整復科」を「柔道整復医療科」に、翌年には「鍼灸指圧科」を「鍼灸マッサージ東洋医療科」、「鍼灸科第二部」を「鍼灸医療科第二部」に学科名を変更した。

また、短大鍼灸手技療法学科の開学に伴い、新たに鍼灸マッサージ東洋医療科、柔道整復医療科の募集を停止とした。

以上のとおり、設立以来 77 年にわたり、建学の理念に基づき教育目標を打ち立て有為な医療人を社会に送り出すために、学校教育において取組んできている。

2) 教育目標

基礎医学を基本とした伝統医療の知識と技術を深く教授し、その知識・技術の練達を計り、人格をともなった有為な医療人を養成し、国民の保健福祉に貢献するとともに、伝統医療を普及して社会の進展に寄与することを使命とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

仙台赤門医療専門学校の閉校、仙台赤門短期大学に鍼灸手技療法学科の開学に伴い、令和6年度の短大と連携した重点目標

重点項目	各計画名	内 容	結果
入学者確保に向けた取り組み	短大オープンキャンパス	令和6年度は10回のOCを実施。166名参加。	入学者54名を確保できた。
	高校ガイダンス	令和6年度は325回の高校ガイダンスに参加。	
	個別相談会	令和6年度は26回の個別相談会を実施。	
短大移行への取り組み	専門学校教員の修士課程進学促進	専門学校教職員を大学院に進学させ、修士取得を推進した。	専門学校教職員2名が大学院に進学。
	短大教職員と専門学校教員間での協力	専門学校教職員が短大オープンキャンパスや個別相談会、入学準備手続き等に協力する。	計画を達成できた。
	校舎改築及び設備・備品の整備	仙台赤門医療専門学校青葉山本校舎を仙台赤門短期大学2号館へ改築。設備・教育備品等を新しくする。	計画を達成できた。

令和6年度の仙台赤門医療専門学校の重点目標

重点項目	各計画名	内 容	結果
国家試験合格率に向上向けた取り組み	国家試験出題教科の補習教育の実施。	授業時間以外の時間で、成績不良者を中心とした国家試験出題教科の補習教育を行った。	全国平均並みの国家試験合格率を達成できた。
	国家試験対策実力試験の実施。	鍼灸関係学科は年間4回、柔整関係学科は年間8回、国家試験対策実力試験を行った。	
	保証人を含めた第三者面談の実施。	国家試験対策実力試験の成績不良者及びその保証人、担任で成績向上に向けた話し合いを実施した。	
退学者防止の取り組み	クラス担任制の継続	各クラスに担任を配置し、出席不良者、成績不良者への面談を行った。	退学者数5名(鍼マ科4名)

	スクールカウンセラーの活用	クラス担任では対応が難しいケースについては臨床心理士の資格を持つスクールカウンセラーに面談をお願いしている。	(柔整科1名) 内1名は短大へ再入学。
--	---------------	--	------------------------

3. 評価項目の達成及び取組状況

1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不十分…2、不十分…1
①学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	(4) 3 2 1
②学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・ 関係業界・保護者等に理解されているか	4 (3) 2 1
③学校における職業教育の特色が定められているか	(4) 3 2 1
④社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	(4) 3 2 1
⑤各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界の ニーズに向けて方向づけられているか	4 (3) 2 1

(1) 実施状況

- ①学校の理念・目的・育成人材像は、従来から定められており、「学則」及び「学生便覧」や入学案内パンフレットに記載されている。
- ②学校の理念等の周知指導は、学内では入学式や卒業式での校長からの式辞・新年度オリエンテーション(「学生便覧」を配布・説明)・各種行事での挨拶・授業内において行っている。学外に向けてはホームページ・入学案内パンフレット・オープンキャンパスを通して発信している。
- ③按摩マッサージ指圧師、鍼灸師、柔道整復師(以下「鍼灸師等」という)が行う東洋医学・伝統医療の業務に関しては、医師が行える業務であると法律で定められているので医療行為であり、国家資格であるという視点に立ち、医療人に必要な資質である、自主・参画・奉仕・協力・貢献を教育目標にして自信と誇りを持つように学生を指導している。
- ④私立の大学・短期大学で、日本初のあん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の3つの国家資格を取得可能な短期大学の設立計画を立て、今年度、文部科学省より設立認可を受け、当校の発展と学生へのより質の高い教育を提供する準備を行っている。
- ⑤徐々に社会普及してきたとみられる東洋医学・伝統医療が、社会や業界のニーズへ対応するためには、より一層質の高い職業教育専門課程として位置づけられる「職業実践専門課程」に認定される必要があると考え、平成27年(2015年)2月に鍼灸指圧科、柔道整復科、鍼灸科第一部、鍼灸科第二部、柔道整復科第二部の5学科が文部科学大臣から「職業実践専門課程」として認定された。現在は、学科名変更、学科の統廃合に伴い、鍼灸マッサージ東洋医療科、鍼灸医療科第二部、柔道整復医療科の3学科が文部科学大臣から「職業実践専門課程」として認定されている。

(2) 課題

- ②学校の理念等の周知に努めており、学生・保護者等には浸透している。
- だが、関係業界には学校の理念等が十分浸透しているとは言い難いところがある。
- ⑤近年の業界のニーズとして、特に医療人としての倫理教育が重視されている傾向にあるので、倫理観に関する教育がさらに必要である。

(3) 今後の改善方策

- ②関係業界には、より一層ホームページ・パンフレットでの学校の理念等の掲載内容を充実させ周知を行う。また、新しくSNS（インスタグラム、X（旧twitter））を活用し、学校の理念に基づいた校内活動等を動画・写真で分かりやすく発信する。
- ⑤附属治療所（国分町校舎）や課外ボランティア活動で患者と接することや、各種関連団体が主催する研修会や学術大会での学びを通じて倫理観を養成する。

2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不十分…2、不十分…1			
①建学の理念・目的等に沿った運営方針が策定されているか	(4)	3	2	1
②運営方針に沿った事業計画が策定されているか	(4)	3	2	1
③運営組織や意思決定機能は、規則・指示系統において明確化されて、有効に機能しているか	(4)	3	2	1
④人事、給与に関する制度は整備されているか	(4)	3	2	1
⑤教務等の組織整備など意思決定の組織体系は整備されているか	(4)	3	2	1
⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	(4)	3	2	1
⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	(4)	3	2	1
⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか	(4)	3	2	1

(1) 実施状況

- ①建学の理念・目的等に沿った運営方針の策定を行っている。
- ②運営方針に沿った事業計画の策定を行っている。
- ③運営組織は、学則等において明文化している。
- ④人事・給与に関しては、就業規則等で規定している。
- ⑤組織整備・校務分掌を各職員に明示している。また、昨年度より毎月、教職員会議を実施しており教職員間の意見交換、意思決定をしている。今年度より教職員会議での意思決定を非常勤講師等にも議事録の開示をもって連絡をしている。
- ⑥教職員会議を通じて教職員に対し法令順守を周知している。
- ⑦教育活動等に関する情報をホームページで公開している。
- ⑧学校運営や教育に係る情報等をコンピューターで管理・活用し効率化を促進するため に 2020 年 9 月にシステム(infoClipper・Google Classroom)を導入した。教職員間の情報共有や、教職員間の情報共有、授業内、学生の課題の提出等で活用している。
また、今年度は、フレッツ光(高速インターネット接続サービス)を設置し、Wi-Fi(1GB(ギガバイト)から 10 GB(ギガバイト))インターネット通信速度を上昇させ、業務の効率アップにつなげている。

(2) 課題

(3) 今後の改善方策

3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不十分…2、不十分…1			
①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	(4) 3 2 1			
②教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	(4) 3 2 1			
③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	(4) 3 2 1			
④キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	(4) 3 2 1			
⑤関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	(4) 3 2 1			
⑥関連分野における実践的な職業教育（産学連携による実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	(4) 3 2 1			
⑦授業評価の実施・評価体制はあるか	(4) 3 2 1			
⑧職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	(4) 3 2 1			
⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	(4) 3 2 1			
⑩資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	(4) 3 2 1			
⑪人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	(4) 3 2 1			
⑫関連分野における業界等との連携において、教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	(4) 3 2 1			
⑬関連分野における伝統を踏まえた現代に適応する知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	(4) 3 2 1			
⑭職員の能力開発のための研修等が行われているか	(4) 3 2 1			

(1) 実施状況

- ①教育課程の編成・実施方針は、修業年限に対応した教育到達レベル、学科等のカリキュラムは体系的に編成され、インターネット上で公開し、シラバスを学生に配布している。教育課程編成委員会による意見も参考にし、授業に反映している。また、大学教員・医師による専門的な授業も導入している。
- ②例年、職業教育の視点に立ち、附属治療所（国分町校舎）において臨床実習を第1学年から教育到達レベルに分けて指導を行っているが、本年度も新型コロナウイルス感染症感染防止対策に留意した上で、附属治療所（国分町校舎）において臨床実習を実施可能な範囲で行った。また昨年同様、青葉山本校舎において基礎学習・応用学習に分けて実施した。柔道整復医療科においては、超音波画像観察装置による実践的な職業教育を実施している。

③⑤⑥

カリキュラムに関しては、教育課程編成委員会を年2回開催し、実践的な職業教育や関連業界団体との連携へ対応できるように作成・見直しを行っている。

④関連分野における実践的な職業教育のため、教員資格を有する治療院開業者・勤務者を実技科目担当の講師(非常勤)とし採用して実践的な指導をしている。

また、昨年度より各週実施の「基礎ゼミ」を取り入れ、卒業生(治療院開業者・勤務者)や業界団体・メーカー等のセミナーを開催した。(表1)参照

⑦授業や定期試験の評価点検は、全教科において前期及び後期の最終授業で行っている。また、学生から教員に対する授業評価アンケートを実施している(Google フォーム)。その授業評価アンケート結果を各教員に配布し、次年度の授業改善に活用している。

⑧職業教育に関する外部評価として、鍼灸関係学科では(公社)東洋療法学校協会による統一模擬試験と実技認定試験を、柔道整復関係学科では(公財)柔道整復研修試験財団による認定実技審査をそれぞれ第3学年で実施している。

⑨成績評価・単位認定等の基準は、学則・試験実施要項に明記し、教職員に周知している。学生に対しては、学生便覧・試験実施要項で周知している。

⑩基礎科目の「履修免除制度」を取り入れ、大学・短大・高専の卒業社会人において、既修の基礎科目について履修を免除している。

⑪関連分野における先進的な医療・教育・教養など知識・技能等を修得するため、(公社)東洋療法学校協会及び(公社)全国柔道整復学校協会の教員研修会、業界の学術大会等へ積極的に参加し、資質の向上に努めている。

⑫令和6年度末現在、当校は教員が、勤務しながら関係する大学院へ進学することを推奨してきたが、その数は、修士課程7名(在学者2名、修了者5名)、博士課程2名(在学者1名、修了者1名)となっている。

⑬年度毎の教員研修会・学会への参加による知識・技術等の修得をし、資質の向上に努めている。短期大学のFD・SD研修に専門学校の教職員も参加し、スキルアップを図っている。

⑭第6回日本伝統医療看護連携学会が10月に北海道看護協会会館(札幌市)及びリモートで開催され、これに協力するとともに、教員を参加させ能力開発に努めた。

(2) 課題

(3) 今後の改善方策

4) 学修成果

評価項目	適切…4	ほぼ適切…3	やや不十分…2	不十分…1
①就職率の向上が図られているか	(4)	3	2	1
②資格取得率の向上が図られているか	4	(3)	2	1
③退学率の低減が図られているか	(4)	3	2	1
④在校生・卒業生の社会的な活躍及び評価を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	(4)	3	2	1

(1) 実施状況

①多数の卒業生や企業からの求人は多く、在校生・卒業生向けの求人情報の掲示及び個別相談等を就職担当者や教員により実施している。また、外部講師による就職関連・業界の情報発信をしている。(表1)参照

2024年度 外部講師、卒業生による就職関連・業界の情報発信一覧(表1)

No.	実施日	講 師	内 容
1	4月 19日	当校 非常勤講師 今野 弘務 先生	「経絡治療の講義」
2	6月 2日	宮城県鍼灸師会スキルアップ研修会 (国分町校舎) ・岩島治療院 院長 岩島 信吾 先生	「長野式治療家がたどりついた一步踏み込んだ本治法の考え方」
3	6月 9日	赤門同窓会研修会 宮城県支部研修会 (国分町校舎) ・赤門同窓会 青森県支部長 関整骨院 院長 関 裕二郎 先生 ・晩翠通り治療院 院長 柴田 克美 先生	「誰も教えてくれない集客方法 実は心理学の応用」 「リンパドレナージマッサージとリンパ浮腫治療の実際」
4	8月 4日	東北鍼灸マッサージ師会連合会研修会 (国分町校舎) ・仙台赤門短期大学 木島 祐子 先生 ・東京有明医療大学 宮本 俊和 先生	「訪問介護利用者の現状・ニーズと在宅福祉の連携」 「鍼灸手技療法の特長と役割」
5	8月 9日	マイナビ仙台 ・会田様	「マナー講座」
6	8月 31日 9月 1日	東北鍼灸学会宮城大会 (国分町校舎) ・みやかわ温灸院院長、 広島大学医学部客員准教授	「新世代につなぐ鍼灸の伝統と可能性 ～暮らしに寄り添う身近なはりきゅう～」

		<p>宮川 浩也 先生</p> <p>・宮城利府掖済会病院副院長、 内科医・漢方医</p> <p>片寄 大 先生</p> <p>・中嶋病院 整形外科副部長</p> <p>島谷 剛美 先生</p> <p>・河北新報社 編集局せんたい 情報部長</p> <p>大泉 大介 氏</p> <p>・NPO 法人 おりぎの家 代表</p> <p>佐藤 宏美 氏</p>	
7	9月 9 日	東北大学病院 漢方内科様	東北大学病院 漢方内科 見学
8	10月 12 日	<p>第 6 回日本伝統医療看護連携学会学術大会 札幌大会</p> <p>・公益社団法人 北海道看護協会専務理事</p> <p>田中 かおり 先生</p> <p>・医療法人愛全会愛全病院看護部 課長</p> <p>熊谷 英樹 先生</p> <p>・釧路労災病院 脳神経外科部長・末梢神経外科センター長</p> <p>井須 豊彦 先生</p> <p>・しらかば鍼灸整骨院</p> <p>名譽院長</p> <p>佐藤 雅美 先生</p>	「伝統医学によるホリスティック・ケア」
9	10月 11 日	・セネファ株式会社様	「せんねん灸」
10	10月 18 日	・東北大学大学院医学系研究科 地域総合診療医育成寄附講座	「東北大学での鍼灸治療」
11	11月 8 日 12月 12 日	<p>・川嶋針灸整骨院</p> <p>川嶋 瞳子先生</p> <p>沼下 真樹 先生</p>	「アロママッサージ」
12	11月 15 日	・晩翠通り治療院 院長	「医療リンパマッサージ」
13	11月 22 日	<p>柴田 克美 先生</p> <p>・株式会社 GENKIDO</p> <p>株式会社介護 NEXT</p> <p>HR 部様</p>	「人事担当者に聞く これから始める就活」

14	12月1日	全日本鍼灸学会東北支部学術集会 ・東京有明医療大学 宮本 俊和 先生 ・おいで薬局 生出 拓郎 先生 ・相澤治療院 相澤 啓介 先生 ・仙台けんえい訪問院 栗和田 健規 先生	「在宅医療・家庭医療」 「スポーツ鍼灸」
15	12月6日	伊東はり灸整骨院 副院長 西羅 美流 先生	「小児鍼・スキンタッチの紹介 ①」
16	12月8日	宮城県鍼灸マッサージ師会 学術大会（国分町校舎） ・つくば国際鍼灸研究所研究員 星 慎一郎 先生	「腰痛に対する触診・遠隔点治療」 「肩凝りに対する触診・遠隔点治療と実証研究」
17	12月13日	・神成接骨院 神成 有己 先生	「小児鍼・スキンタッチの紹介 ②」
18	12月19日 1月9日	・ふじい接骨院 院長 藤井 裕文 先生	「超音波セミナー」
19	12月20日	・もんま鍼灸院 院長 門馬 章人 先生	「養生と鍼灸院経営」

②資格取得 100%を目標として、第3学年では学外の（公社）東洋療法学校協会主催の「全国統一模擬試験」（あん摩マッサージ指圧師、はりきゅう師国家試験模試）、（公社）全国柔道整復学校協会主催の「全国統一模擬試験」（柔道整復師国家試験模試）への参加、学内の国家試験対策実力試験（鍼灸関係学科は年間4回（新年度試験を含む）、柔整関係学科は年間8回）、国家試験前の模擬試験（鍼灸関係学科は1回、柔整関係学科は2回）を行っているほか、国家試験出題教科の補習教育を実施している。（今年度は2年生から実施。）

また、第1・2学年における成績不良者に対して、授業外で補習教育を実施している。
③昨年度より各クラス担任を2名とした。

また、学生の成績・出席状況を把握して、個別相談・生活指導を行い、必要に応じて保証人を含めた三者面談を行っている。

④卒業時に就職状況調査を実施し、卒業段階の進路を把握している。また卒業生と交流や情報交換などを行い、その社会的な活躍について把握している。更に卒業生から在学中の心構え・国家試験対策・就職活動・就職後について等を在校生に伝える研修会等を各週実施の「基礎ゼミ」の中で設けている。（表1）参照

(2) 課題

②学習意欲の低下や対人関係での悩みから勉強に集中できない学生の資格取得率・退学率に関して適切に対応できないケースなどが増えている。

(3) 今後の改善方策

②学生の学習能力差に対応し、可能な限り個別に対応できる体制を整える。

5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不十分…2、不十分…1
①進路・就職に関する支援体制は整備されているか	(4) 3 2 1
②学生相談に関する体制は整備されているか	(4) 3 2 1
③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	(4) 3 2 1
④社会人向けに対する経済的な支援体制は整備されているか	(4) 3 2 1
⑤学生の健康管理を担う組織体制はあるか	(4) 3 2 1
⑥課外活動に対する支援体制は整備されているか	(4) 3 2 1
⑦学生の生活環境への支援は行われているか	(4) 3 2 1
⑧保護者と適切に連携しているか	(4) 3 2 1
⑨卒業生への支援体制はあるか	(4) 3 2 1
⑩社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	(4) 3 2 1
⑪高等学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	(4) 3 2 1

(1) 実施状況

①進路では、他学科への入学に際し入学金免除・減免を行っている。就職では、厚生労働省認可の「無料職業紹介所」として登録し、求人票の掲示や個別相談を中心に行っている。

②学生相談窓口として、クラス担任を中心に面談などを通してサポートしている。
また、スクールカウンセラーによるカウンセリングも行っている。

③学生に対する経済的な支援として、「授業料の分納」を学校独自に行っている。更に、文部科学省による「高等教育の修学支援制度（給付）」・独立行政法人日本学生支援機構による奨学金（給付型・貸与型）・日本政策金融公庫や信販会社による教育ローンの相談や事務手続きなどを行っている。また、国民年金保険料学生納付の特例申請について日本年金機構の事務法人となり、学生に便宜を図っている。

④社会人向け入学者の専門実践教育給付制度の対象として、鍼灸マッサージ東洋医療科、鍼灸医療科第二部が厚生労働省から指定されている。本年は48名が教育訓練給付（3年間120万円、卒業後を含めて168万円）を受けている。

- ⑤学生の健康管理のため毎年4月に健康診断を実施し、必要に応じて担任が個別相談・再検査の指導を行っている。
- ⑥課外活動に対して、参加者に対する助成（業界団体主催の講習会、（公社）全国柔道整復学校協会主催全国柔道大会、（公社）東洋療法学校協会学術大会等）、ボランティア活動、学友会の下部組織として各クラブ活動を毎年支援している。今後もスポーツ大会の救護ボランティア等の開催回数を増やしていく予定である。
- ⑦学生の生活環境の支援として、通学や臨床実習への交通の利便性向上のため、青葉山本校舎 ⇄ 青葉山駅間、青葉山本校舎 ⇄ 国分町校舎間のスクールバスを運行している。また、無人コンビニエンスストアによる飲食品の販売や弁当屋による校内販売を行い、休憩ラウンジ（2階）の設置などで学生の利便性を提供している。
- ⑧保護者との連携として、成績表を半期ごとに保護者（保証人）へ郵送し、必要に応じて保護者との三者面談を実施して学力及び生活の強化を図っている。
- ⑨卒業生への支援体制として、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の資格取得者でより高度な専門知識と臨床能力を希望する者への卒後教育機関・制度として、附属治療所（国分町校舎）における臨床研修制度（1年制）がある。また、毎年5月の同窓会主催研修会では、卒業生（同窓生）が在校生とともに受講している。国家試験不合格者への対応として、国家試験受験に向けた卒業生聴講制度、国家試験対策の各種試験を行い、学業進展度の指導を行っている。
- ⑩社会人への対応として、仕事をしていると昼間は通えない人のため、働きながらでも通える鍼灸医療科第二部（夜間部）を開設している。
- ⑪高等学校等との連携として、職業理解のための模擬授業や職業紹介を各高校に赴いて実施している。今年度は5月7日に東北生活文化大学高等学校にて、按摩マッサージ指圧・鍼灸・柔道整復体験授業を行った。

(2) 課題

(3) 今後の改善方策

6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不十分…2、不十分…1			
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	(4)	3	2	1
②学内外の臨床実習施設、インターンシップ等について教育体制を整備しているか	(4)	3	2	1
③防災に対する体制は整備されているか	(4)	3	2	1

(1) 実施状況

- ①本校施設は、設置基準に定められている普通教室・実技実習室・柔道場・図書室などについて教育上の必要性に対応できるように整備している。普通教室には液晶プロジェクター・DVD再生機・PC、大教室にはワイヤレスマイクを含む音響設備・PC・骨格模型などを設置、図書室（蔵書4396冊登録）には、学習スペースや学生用PC・多機能プリンターを設置、柔道場（102畳及び床スペース、ロッカールーム）には、冷暖房、シャワー設備、トレーニング機器を設置し、授業科目の「柔道」だけでなく、健康維持増進のため利用されている。今年度は、ICT教育（電子教科書等）の導入準備のため、フレッツ光（高速インターネット接続サービス）を設置し、Wi-Fi（1GB（ギガバイト）から10GB（ギガバイト））環境の拡充を行った。
- ②附属治療所は本校舎のほか、仙台市中心部の国分町校舎にも大規模な治療所を設置し、東洋医学臨床治療所（治療ベッドベースは20個所）として、数多くの患者を受け入れ実践的な実技指導が行われている。
- ③法令で定められている施設・設備については定期点検を実施し、災害時対応の「防災マニュアル」を整備・災害食（飲料水）の備蓄している。また、事務室内に救急救命のAEDを、校舎や学生寮に防犯装置を設置している。衛生管理委員会を開催し、衛生管理者が月1回の校舎の防災点検を実施している。

(2) 課題

(3) 今後の改善方策

7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不十分…2、不十分…1
①学生募集活動は、適正に行われているか	_____
②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	_____
③学納金は学生に対して良心的な額になっているか	_____

(1) 実施状況

①②③

鍼灸マッサージ東洋医療科および、柔道整復医療科の募集を停止した。

(仙台赤門短期大学鍼灸手技療法学科開学のため)

(2) 課題

(3) 今後の改善方策

8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不十分…2、不十分…1			
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
③財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
④財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

(1) 実施状況

- ①入学者の減少により、学納金収入が減少している。
- ②あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師(以下「あはき」という)教員免許取得者の教員について、専門科目のほか専門基礎科目も担当させることで経営の効率化を図っている。
- ③会計監査を公正・適正に行い、ホームページで情報公開している。
- ④財務情報をホームページで随時公開している。

(2) 課題

- ①設置学科を選択して集中させたが、柔道整復医療科の入学者確保が難しい状況である。
- ②予算の入件費比率が高い状況である。

(3) 今後の改善方策

- ①財務基盤安定のためには入学者の増加が必須であり、学生募集活動を積極的に行い受験生のニーズに応えられるようにする。新卒者の学生が増加傾向であることから、専門学校を短期大学に移行することを計画・実行する。また、受け入れ校となっている高等教育等の修学支援制度について、高校生に向けて周知徹底する。社会人に対しては、ハローワークの教育訓練給付金、教育訓練支援給付金制度を周知徹底する。
- ②あはき教員免許取得者が専門科目のほか、専門基礎科目の授業も担当することで、さらに非常勤講師の大学教員等を減らし入件費比率を改善する。

9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不十分…2、不十分…1			
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	(4)	3	2	1
②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	(4)	3	2	1
③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	(4)	3	2	1
④自己評価結果を公開しているか	(4)	3	2	1

(1) 実施状況

①学校教育法専修学校設置基準、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設認定規則、柔道整復師学校養成施設指定規則等に基づき、学則変更などの手続きを適正に行っている。また、大学設置基準に基づいて単位数・講義等は定められているが、

年間講義の回数に定期試験を含めることができないことになっているので、当校では、これを遵守して年間講義(30回) + 定期試験(2回)で実施している。

②個人情報に関しては、個人情報保護法に基づき個人情報保護方針を定め、その保護に努めている。ホームページでの資料請求者や、受験時の出願者、入学時の入学者に対して個人情報の取り扱いの説明を行っている。

③学校自己評価並びに学校関係者評価を毎年実施して、結果に基づき課題の改善に取り組んでいる。専門学校の教職員から自己評価の各項目のヒアリングを行い、自己評価報告書に反映している。

④学校自己評価の結果をホームページに随時公開している。

(2) 課題

(3) 今後の改善方策

10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不十分…2、不十分…1			
①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	(4)	3	2	1
②学校の特質に応じた社会貢献・地域貢献を行っているか	(4)	3	2	1
③学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	(4)	3	2	1

(1) 実施状況

- ①社会貢献・地域貢献の観点から本校舎を活用して、学生による学友会が企画・運営する学園祭（昨年度より大規模な赤門祭）（来場者数 179 名）を支援している。
また、昨年、当校坂本正憲理事長が春の叙勲で旭日小綬章を授与された。（私学教育振興）
- ②医療系専門学校としての社会貢献・地域貢献として、日本赤十字社宮城県支部へ協力金を拠出し、その活動を支援した。
- ③医療人になる者はボランティア精神が特に必要であるとの認識から当校では学生のボランティア活動を奨励している。今年度から、山形まるごとマラソンの救護ボランティアに参加した。（表 2）参照

2024 年度 ボランティア活動・支援実績(表 2)

No.	実施日	内 容
1	5月 12 日	仙台国際ハーフマラソンの救護ボランティア。 (宮城県仙台市) (宮城県鍼灸師会合同)
2	5月 25 日 5月 26 日	全日本鍼灸学会学術大会の運営ボランティア。 (仙台国際センター)
3	5月 30 日 7月 2 日	ハンドマッサージや東洋医学を指導。 (仙台赤門短期大学 看護学科)
4	7月 2 日	校内献血活動(仙台赤門医療専門学校) (赤門青年手技医療赤十字奉仕団)
5	7月 7 日	バレー大会の救護ボランティア。(カメイアリーナ仙台)
6	9月 6 日	山形まるごとマラソンの救護ボランティア。 (山形市総合スポーツセンター)
7	11月 3 日	ひとめぼれマラソンの救護ボランティア。 (宮城県遠田郡美里町) (宮城県鍼灸師会合同)
8	11月 13 日	校内献血活動(仙台赤門医療専門学校) (赤門青年手技医療赤十字奉仕団)
9	11月 17 日	バドミントン大会の救護ボランティア。(カメイアリーナ仙台)
10	12月 1 日	卓球大会の救護ボランティア。(カメイアリーナ仙台)

(2) 課題

(3) 今後の改善方策

11) 国際交流（必要に応じて）

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不十分…2、不十分…1
①留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	(4) 3 2 1
②留学生を学内でサポートできる体制が整備されているか	4 (3) 2 1

(1) 実施状況

①留学生の受入れについては、関係法令に基づき適切な手続きを行う体制を整えている。留学生の受入れ実績は、これまでアメリカ・グアテマラが各1人、アルゼンチン・ボリビアが各2人、韓国が3人、台湾が4人、中国が6人などである。

②外国人留学生の免許取得後、国内外での勤務・開業に当って相談・支援をしている。

(2) 課題

②留学生においては、医療用語や漢字に不慣れな点が学習成果に繋がりにくいことがある。

(3) 今後の改善方策

②学習の課題となっている点を把握し、個別対応する。国内外で勤務・開業に当って外部業界団体と連携し、留学生の相談・支援を強化していく。